

# 下町情緒のやさしさと歴史と猫にふれあえる街

今回の探検は、熊野前停留場をスタートして、荒川区、文京区、台東区の商店街・歴史ある通りを巡る散策コースです。都内でも人気のある散策スポット谷中・日暮里エリアでは下町情緒あふれる商店街、昔の姿そのままの建物など見どころがいっぱい。猫が多い街としても有名。暑いこの季節、のんびりゆっくり街角の猫も観察して。いざ、出発進行!

熊野前  
谷中  
日暮里

**今回の探検コースは約8km**

**GOAL**

**START**

**1 「熊野前商店街 (はうひいもーる熊野前)」**  
万国旗があなぐく地元の商店街  
商店街の途中に小学校があり、いつもみんなが挨拶をしている商店街。おもちゃ屋さんやお総菜屋さんなど懐かしい風景の店舗が並ぶ。

**2 「おぐぎんざ商店街 (ふれあいCITYおぐぎんざ)」**  
毎日大勢の買い物客でいっぱい  
年間を通して楽しいイベントを数多く開催している商店街。最近放送されたテレビドラマなどのロケ地としても有名。

**3 「西日暮里公園 (江戸から明治は「虫聴き」の名所だつた)」**  
JR西日暮里駅近くの歩道橋を上ったところにあり木々が生い茂る眺めのいい公園。周辺の台地は道灌山と呼ばれ、歌川広重の錦絵や正岡子規の歌などにも出てくる景勝の地。

**4 「高村光太郎記念碑 (卒業生は、高村光太郎)」**  
荒川区立第一日暮里小学校の校門前には、創立百周年を記念して造られたフクロウの像と石碑『正直親切』がある。石碑の直筆文字は卒業生の詩人・彫刻家の高村光太郎のもの。

**5 「富士見坂 (実際に富士山が見える)」**  
都心にいくつもある富士見坂のうち、現在でも天気のいい日は地上から富士山が見える唯一の坂、「関東の富士見100景」にも選ばれている。

**6 「修性院 (堀にかわいい布袋尊のイラストがある)」**  
江戸時代から花見寺と呼ばれ、歌川広重の「名所江戸百景」にも描かれているお寺。谷中七福神の布袋尊があり、寺の堀には四季をモチーフにした布袋尊が描かれている。

**7 「よみせ通り (中程に商店街のシンボル「延命地蔵尊」がある)」**  
大正時代、この通りに店が軒を並べ、毎日多くの人が賑わって「夜店通り」と呼ばれたのが由来。商店街の看板にある延命地蔵尊のイラストは俳優・中尾彬さん作。

**8 「YANESSEN (インターネットショナルな観光案内施設)」**  
2011年1月にオープンした外国人向け観光案内施設。日本各地の観光ボランティアを紹介、伝統文化の体験サポート、谷中周辺の店舗、観光案内を行っている。

**9 「谷中ぎんざ (東京を代表する元気な商店街)」**  
谷中は都内でも有数の猫が多い街。日陰や車の下で昼寝をしている猫に出会えるかも。

**10 「タヤケだんだん (とあらんオススメスポット)」**  
一般公募して命名された階段。ここから眺める夕焼けはまさに絶景! 階段の下は谷中さんざ。

**11 「観音寺の築地堀 (江戸時代に作られた古い堀)」**  
観音寺の堀には、江戸時代に作られた瓦と土を交互に積み重ねた土壠に屋根瓦を葺いた築地(ついじ)堀がある。現在でも江戸の風情が残る谷中でも人気のスポット。

**12 「谷中霊園 (東京三大霊園のひとつ)」**  
徳川家15代将軍慶喜をはじめ多くの著名人が眠る都立霊園。中央にある「さくら通り」沿いは、春には桜のトンネルができる、桜の名所になっている。

**13 「下御隱殿橋 (トレインミュージアム)」**  
大人も夢中になるトレインビュースポット(トレインミュージアム)。橋の中程にトレインミュージアムと呼ばれるバルコニーがあり、新幹線や特急列車、山手線など、約20種類、一日に約2500本の列車を見ることができる。

**14 「にっぽりマルシェ (日暮里駅の東口イベント広場で毎月土日開催)」**  
福島や宮城などの東北地方の特産品や飲食を販売。ステージでは川崎和太鼓や浅草若手芸人のイベントを開催。8月は18、19日、9月は22、23日、10月は20、21日10時から開催。

**15 「道灌山通り商紀会 (北島康介選手の地元)」**  
北島選手の実家「ミート&デリカきたじま(北島商店)」のある通りにはフラッグがはためく。お店のメニューは絶品!!

**16 「キヌ電通り (鳥の親子がかわいい街灯)」**  
昔、「鬼怒川水力電気」という電力会社の施設が周辺にあったことから命名された。